



はさきの 水産業

- はさき漁業協同組合
- 波崎水産加工業協同組合
- 神栖市





はじめに

神栖市波崎は水産業が非常に盛んな地域です。茨城県の沖合漁業を代表する大中型まき網漁業船団を擁し、底びき網漁業、河川・海面両者の小型合併漁業と漁業種類も大変豊富です。そんな「はさき」の水産業を少しでも広く知って頂くために、また地元の子供たちの漁業に対する理解と、漁業という仕事に対する興味を持って頂くため、このパンフレットを作成いたしました。ご利用いただければ幸いです。



《第40回全国海の子絵画展》
『金目』水産庁長官賞

目次

漁業協同組合と水産加工業協同組合

● 漁業協同組合とは	01
● 漁業協同組合の仕事	01
● 茨城県内の水産業協同組合	01
● 波崎漁港の歴史	02
● はさき漁業協同組合	02
● 波崎漁港、水揚数量と金額	07
● 波崎水産加工業協同組合	20
● 干物加工品生産工程	22
● 冷凍品生産工程	23

はさきの主な漁業種類と漁法

● 大中型まき網漁業	09
● 遠洋かつおまぐろ漁業	13
● しらすうなぎ特別採捕	13
● 船びき網漁業	14
● えび板びき網漁業	15
● 沖合底びき網漁業	15
● 貝けた網漁業	16
● 固定式さし網漁業	17
● 曳釣り漁業	17

コラム

● はさきのまき網漁業の歴史	09
● 小型船と魚群探索機器の歴史	14
● 主な水産加工品	25
● 沖合底びき網漁業で獲れる魚	26
● おさかな料理法	27

漁業協同組合と水産加工業協同組合

漁業協同組合とは…

漁業者の経済的、社会的地位の向上と水産業の生産力の増進を図るために水産業協同組合法によって定められた協同組織です。漁協と略し、最近では JF とも言います。漁協の構成員(漁業者)は組合員と言います。正組合員の資格は一定の条件を満たす者に与えられます。正組合員は出資の額に関係なく、一人一票の平等の議決権を持っています。

漁業協同組合の仕事

仕事の内容は多岐にわたっており、銀行業としての信用事業、保険事業としての共済事業、漁民の漁獲物を卸売販売する販売事業、漁民が操業に必要な燃料や漁具、または生活に必要な食品などを供給する購買事業、操業指導を行う指導事業などがあります。信用事業を行う漁協は銀行と同一視されます。

茨城県内の水産業協同組合

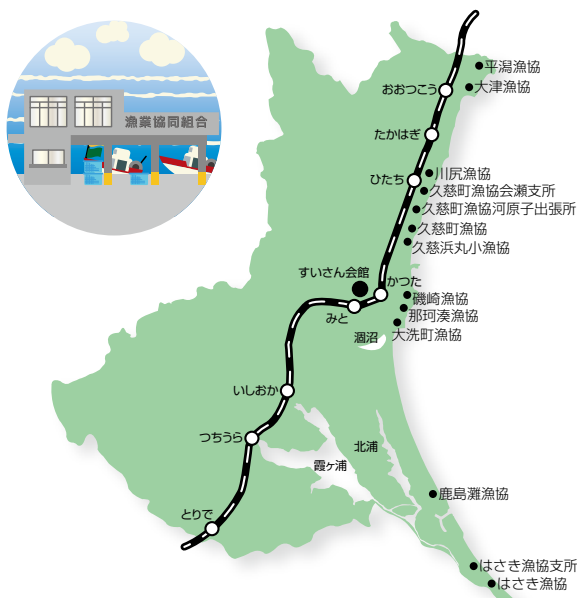
茨城県内には沿海地区に10、霞ヶ浦地区に2、北浦地区に2、内水面地区に15の漁協があります。また業種別漁協3、漁業生産組合1、水産加工協8、合わせると計41の組合があります。各地区の漁協の事業内容は異なっており、沿海地区の漁協は購買、販売、共済事業に力を入れています。霞ヶ浦、北浦、内水面地区の漁協は指導事業を主に行っています。

水産業を取り巻く環境は、国際規制の強化、水産資源の減少、輸入水産物の増大、漁業者の高齢化、また後継者不足等の影響により、漁業経営はもちろんのこと漁協経営も大変厳しいのが現状です。一方、平成13年に施行された「水産基本法」を受け、漁協は地域の活性化、資源管理型漁業の推進、担い手の育成など新たな課題への対応も求められています。

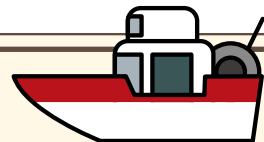
これら課題へ対応していくため、「各地区1漁協」を目標とした合併が進められています。霞ヶ浦地区では、平成22年1月に14漁協が合併して「霞ヶ浦漁業協同組合」が設立、北浦地区では、平成14年6月に6漁協が合併して「きたうら広域漁業協同組合」が設立されました。

沿海地区では、漁協合併の際の障壁となる財務格差の実態調査や産地市場統合の可能性などについて実務

者協議が行われ、北部・中部・南部の3地区で合併した後、県1漁協へ合併する方針が決まりました。平成19年9月には南部地区の波崎漁協と波崎共栄漁協が合併し、「はさき漁協」が設立され、平成23年に久慈町漁協、会瀬漁協、河原子漁協の3漁協が合併しました。県では、今後も合併が可能な漁協から先行して合併を進め、実質的な県1漁協体の完成を目指すこととしています。



波崎漁港の歴史



波崎漁港の起源ですが、江戸時代の中期以降、銚子漁港と関連して利根川河岸に自然発生的に出現したと見られています。利根川河口を利用した河口港で、昭和8年から13年に物揚岸壁を建設するなど、前泊地の浚渫をしました。昭和26年、第3種漁港の指定を受け、同年からの第1~4次漁港整備長期計画により、現河口港における防波堤及び岸壁等の整備が行われ、ほぼ現在の姿となりました。しかし、漁船が大型化する

一方、港内の土砂堆積が著しく、水深維持が困難となったため新漁港を建設すべく、昭和48年に第5次漁港整備長期計画が開始されました。漁港整備長期計画は第6次、7次計画と進められ、昭和60年11月に現在の波崎新漁港の一部供用が開始されました。これにより水産物流通加工拠点総合整備事業の指定を受け、製氷貯氷施設及び卸売市場施設を建設し、昭和63年4月に組合事務所を新漁港に移転しました。

はさき漁業協同組合



概要

「はさき漁業協同組合」は神栖市内（旧波崎町）にある2つの漁協（波崎漁協、波崎共栄漁協）が合併し、平成19年9月1日に設立されました。

波崎漁協は昭和24年10月に設立され、大中型まき網漁業者による水揚げと同業者への氷の供給を経営の柱としていました。また波崎共栄漁協は昭和36年5月に設立され、5t未満の小型船漁業者を中心とした組合でした。

新組合であるはさき漁業協同組合は、大中型まき網漁業による水揚げと氷の供給、船びき網漁業および特別採捕によるうなぎの稚魚の水揚げが経営の中心をなしています。また、波崎漁協より継承した風力発電施設は地域の自然資源である「浜風」を活用したグリーンなエネルギーを生み、人と地球にやさしい発電施設です。環境・衛生管理型の漁港へ向けてHACCP対応市場を目指していきます。



組合員数

正組合員合計75人 准組合員合計22人 合計 **97人**

(平成31年3月末現在)



個人漁業者

正組合員 62人
准組合員 16人

合計 **78人**



漁業を営む法人

正組合員 13人
准組合員 0人

合計 **13人**



遊漁船漁業者

正組合員 0人
准組合員 6人

合計 **6人**



漁船の隻数

(組合員の所有する漁業種別、トン数階層別隻数及び経営体数)

	網 船	魚探船	運搬船	その他 附属船	計	経営体数
大中型まき網漁業	7	1	10	29	47	7

	0t~5t 未 満	5t~10t 未 満	10t~20t 未 満	それ以上	計	経営体数
遠洋かつおまぐろ漁業	0	0	0	2	2	1
沖合底びき網漁業	0	0	2	0	2	2
小 型 船 漁 業	112	4	9	0	125	89
計	112	4	11	2	129	92

(平成31年3月末現在)



組合施設

漁港荷捌き施設

21世紀の漁港づくり。
ひろびろゆったり、しかも
機能的な近代漁港。

波崎漁港の水揚量は、全国魚市場の中でも上位に
ランクされる実績をあげております。水揚げの迅
速化、合理化を図るため、荷捌き場と入札施設は機
能性を追求し広く明るくゆとりのある設計です。



入札場



荷捌き所



トラックスケール

建築概要

用地面積.....23,764.0㎡

建築面積

荷捌棟.....2,099.5㎡

事務所棟.....849.6㎡

計.....2,949.1㎡

延 面 積.....3,815.8㎡

構 造 ▶ 鉄筋コンクリート造り3階建

製氷工場



外港製氷工場



油圧ポンプユニット



冷却塔



冷凍機



油圧式貯氷・搬出装置

建築概要

用地面積	1,276.00㎡
建築面積	679.09㎡
延面積	1,294.07㎡
構造	鉄筋コンクリート造り3階建

設備概要

製氷能力	自動製氷機25t/日産 2基(50t/日産)
貯氷能力	700t (233t×3)
搬送能力	100t/時間×2

購買・利用施設

小型船給油施設および上架施設



給油所



屋外タンク

設備概要

屋外タンク	100kℓ×1基 200kℓ×1基
給油所	2棟



上架場



設備概要

ウインチ小屋	上架用台車×3台
--------	----------

風力発電施設

JFはさき 海風丸(うみまる)と風力発電施設2号機

この愛称は旧波崎町東部地区の小学生
444点の応募のなかから選ばれました。



ナセル：全漁連の統一ロゴをベースにデザインしています。

タワー：空と海を背景に、地元で獲れるマイワシ、県の魚に指定されているヒラメ、漁獲高日本一の鹿島灘はまぐりのイラストで、海の豊かさを表現しています。



波崎水産加工業協同組合

風力発電でつくられたグリーンエネルギーで
冷蔵庫・事務所の電力をまかっています。



©神栖市



🐟 技能実習生の受け入れ

将来起こりうる高齢化・少子化問題に対応すべく、平成27年度よりインドネシア共和国からの外国人技能実習生の受け入れを開始しました。テレビから流れる外国人技能実習生のニュースは、長時間労働に加え、ピンハネ、低賃金など非人道的、劣悪な労働

条件下で働かせるといったものばかりですが、当組合としては、新興国への技術移転、国際貢献事業の一環として、技能実習生とのWin-Winの関係を目指しています。

新規乗船者(初心者)数

	新 卒 者	一般(未経験者)	技能実習生	合 計
平成26年度	10名	6名		16名
平成27年度	1名	2名	16名	19名
平成28年度	4名	0名	14名	18名
平成29年度	2名	0名	12名	14名
平成30年度	1名	0名	12名	13名

(平成31年3月末現在)



地元祭礼である「大潮祭」への参加



自主運営によるサッカー大会「obonカップ」



自主運営によるサッカー大会「obonカップ」



神栖市国際交流フェスティバルにてインドネシアのポップミュージックを披露

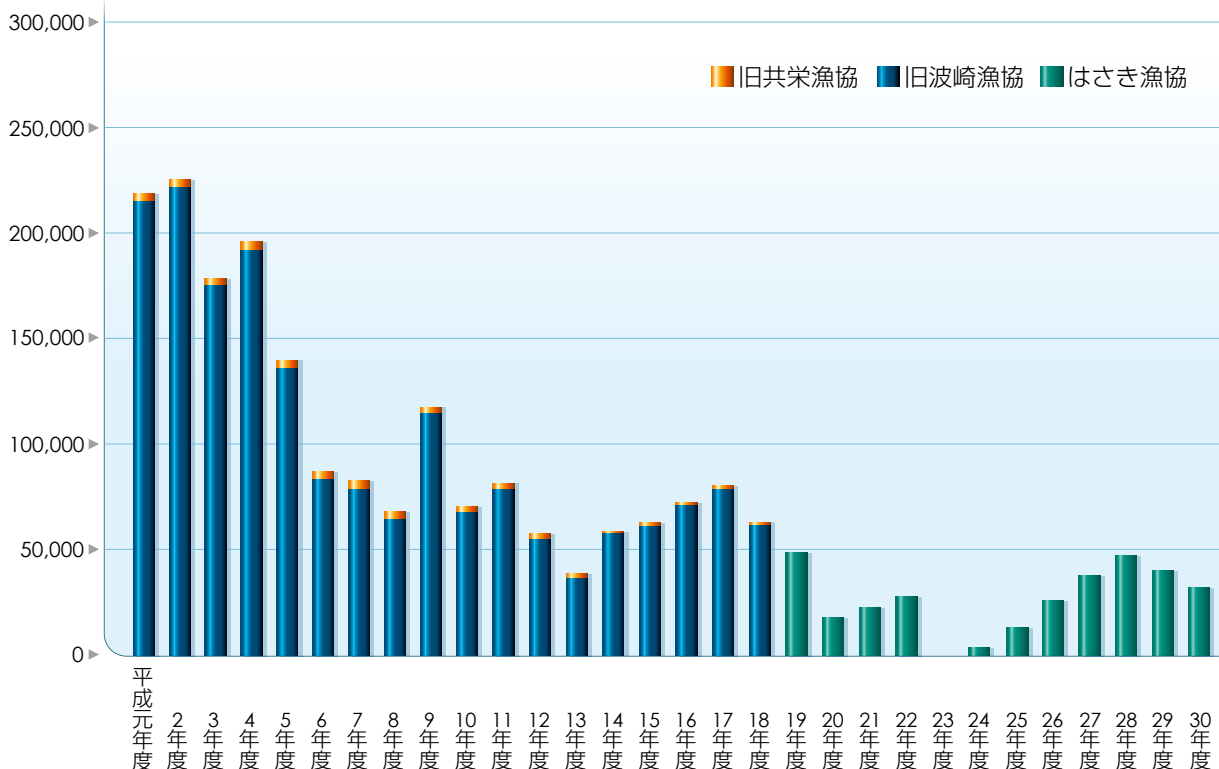


このページをCOCOAR2で
SCANすると動画が再生します



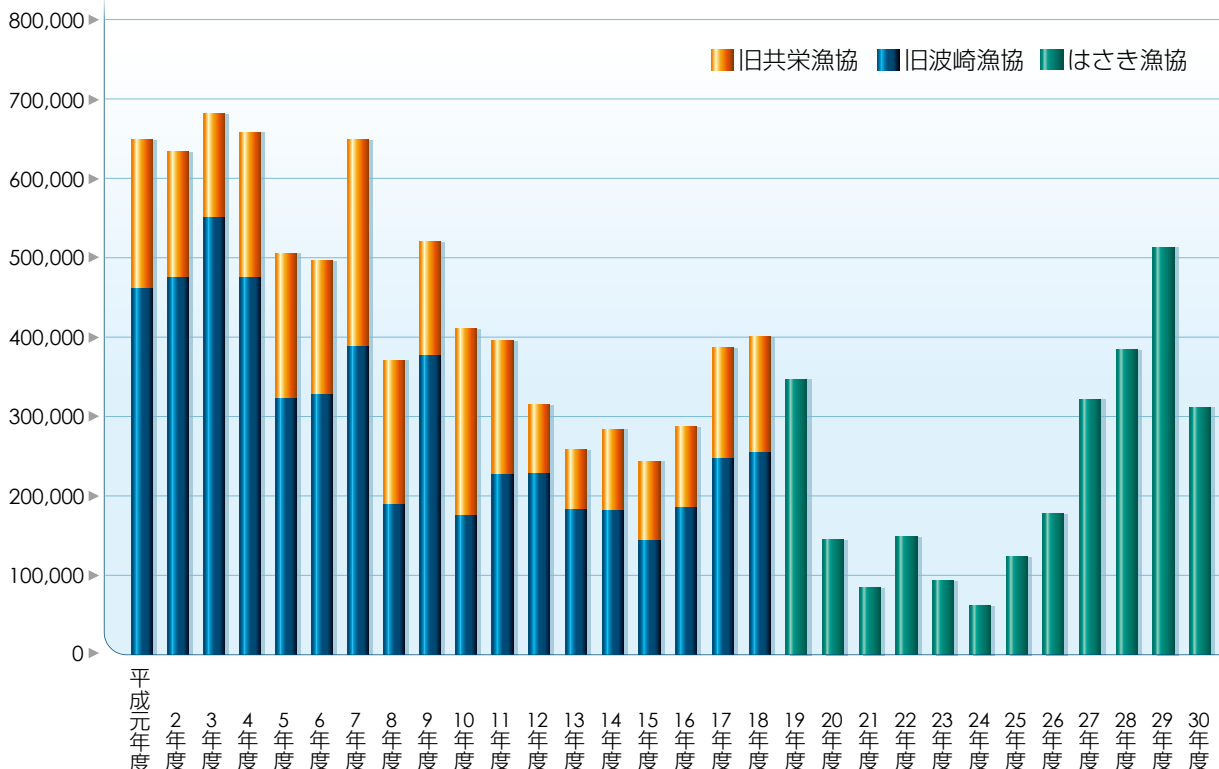
波崎漁港、水揚数量と金額の推移

数量 単位:トン



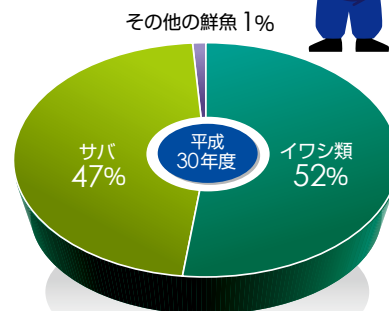
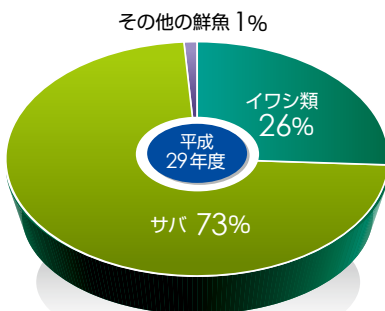
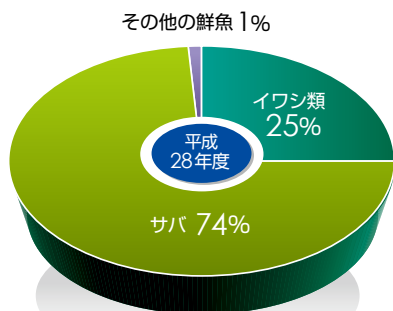
波崎漁港の水揚数量

金額 単位:万円

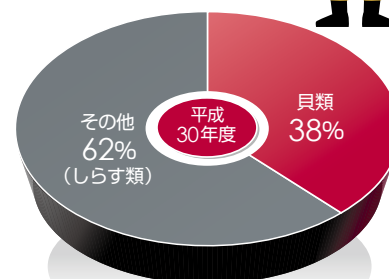
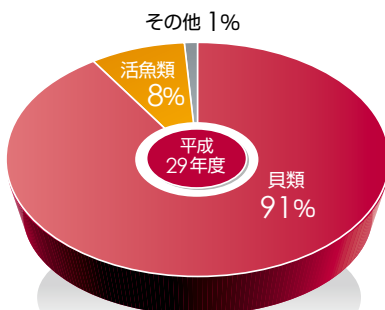
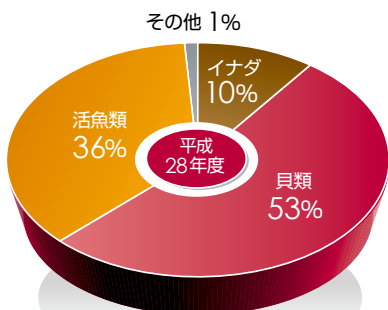


金額の推移

水揚数量に占める漁獲物構成



その他の水揚数量に占める漁獲物の構成



【参考】水揚数量と金額

	水揚数量	水揚金額 (千円)
▼平成 16年度	76,880t	2,856,596
17年度	78,183t	3,818,006
18年度	62,869t	3,992,945
19年度	47,141t	3,413,973
20年度	12,735t	1,478,278
21年度	17,584t	791,439
22年度	23,539t	1,495,305
23年度	246t	852,478
24年度	2,196t	582,689
25年度	9,731t	1,151,475
26年度	20,335t	1,615,800
27年度	32,737t	3,246,422
28年度	46,114t	3,802,135
29年度	34,071t	5,181,981
30年度	29,324t	3,167,409



※平成23年3月東日本大震災発生

はさきの主な漁業種類と漁法

大中小型まき網漁業

まき網漁業は、魚群の回りを逃げられないように網で取り囲み、網を徐々に狭めて魚を獲る漁業です。まき網漁業は使用する船舶の大きさ等により、大中小型まき網漁業(総トン数40トン以上)、中小型まき網漁業(総トン数40トン未満)に分類されます。また、

大中小型まき網漁業のうち、1艘まきでかつお・まぐろ類を獲ることを目的としたものもありますが、我が波崎船団はイワシ、アジ、サバ等の多獲性魚種を獲ることを目的として操業しています。

船団構成員と乗組員

まき網漁業の1船団は網船1隻、魚探船1隻、運搬船1~2隻、レッコポート及び搭載艇3隻からなり、各船がそれぞれ役割分担をして操業を行います。近年、波崎船団は経営改善、省エネのため船団構成の縮減に取り組み、網船兼運搬船1隻、運搬船1隻、レッコポート数隻体制に移行しています。1船団の乗組員は46名程度で、網船に船団の最高責任者である漁撈長が乗船します。そして各船には船長、機関長が配置されます。新規に乗組員となった場合には、甲板員、機関員として漁業に従事することになります。

乗組員の職階配置

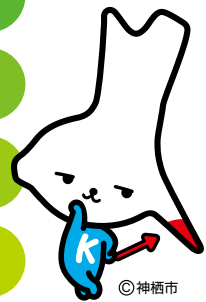
漁撈長

船長

機関長・通信長

航海士・機関士

甲板員・機関員



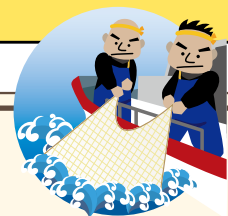
©神栖市

網船	運搬船	レッコポート
1隻(199t~300t)	1~2隻(200t~400t)	3隻
乗組員22~26人 投網、揚網を行う	乗組員8~13人 漁獲物の運搬を行う	乗組員6人 レッコポートは網船、 運搬船の裏漕ぎを行います。
1船団 乗組員約40~46人		

コラム はさきのまき網漁業の歴史

鹿島灘近海の漁業には江戸時代より八手網、投網などさまざまな漁法がありましたが、明治27年、稲村喜太郎が、波崎ではじめて導入した揚繰網漁法は、町の漁業の近代化の布石となりました。揚繰網はまき網の一種で、イワシやサバ

などを2艘の漁船が連動して、魚群を網にからめとる効率の良い漁法で、その後の漁法の主流となりました。ことに大正期に漁船の動力化が進んでからは、漁場が仙台沖にまで拡大して、漁獲量は急増しました。



一航海の操業

まき網漁業は、対象魚種を巨大な網で巻き取っていく漁法であるため、魚が分散している状況では十分な効果を発揮することができません。このため、魚が密集した魚群を形成していることが大前提であり、何よりも密集した魚群の探索・発見が重要となります。



操業の模式図



1 出航

乗組員は出港の30分～1時間前には船に集合し、エンジンを始動して、計器類、機械類の調整を行います。



2 操業

前日の漁況、海況及び気象の情報に漁撈長の経験を加え魚群探索海域を決定いたします。1船団を構成する網船、運搬船の全船が魚群探知機、スキャニングソナーを使用し、魚群を探索します。魚群発見後はスキャニングソナーにより魚群の移動方向や速度を確認します。また潮流計により潮流の方向や速度を確認し、入網後の漁網の網なりを予測しま

す。これらの情報を勘案し、魚群の進行方向を遮るように、かつ漁網の中心部に魚群がぶつかるように円状に投網していき、円状につながった漁網の下部を絞り袋状にします。その後バランス良く網を巻き上げ、漁獲物を運搬船に積み込みます。1回の操業には約2時間かかります。



揚網が終わりに近づくと漁獲物を取り込むため運搬船が網の端に付きます。



漁獲したサバを魚槽へ収容する。



3 ● 操業を終えて

操業の間や操業後に乗組員は食事を済ませます。



4 ● 入港

運搬船の乗組員は、漁獲物の陸揚げ、氷の積み込み作業を行います。その他の乗組員は、網の修理やエンジンの整備などを分擔して行き、次回の操業に備えます。終了後、解散となります。



マークのある写真をCOCOAR2で
SCANすると動画が再生します



はさきの漁業を
動画で配信中!



われら海生きる

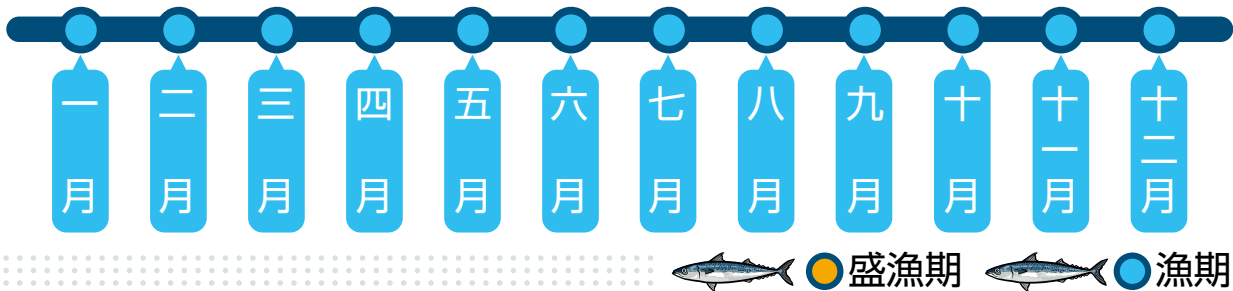


https://www.youtube.com/channel/UCleKLAOT1tQb_nvFwf0hag



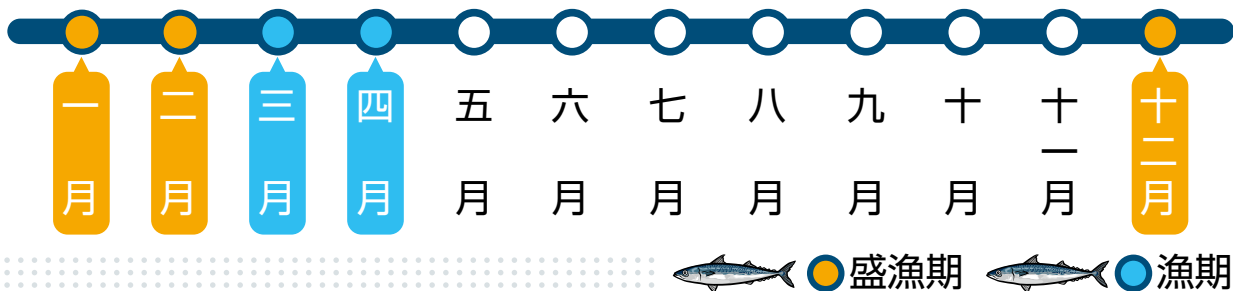
🐟 遠洋かつおまぐろ漁業

生きた小魚^まを撒いて魚を集め、えさに似せた釣り針をつけた竿でかつおやまぐろを主な対象魚として釣り上げます。遠洋かつおまぐろ漁業は公海や外国の沖合で長期的な操業を行う、規模の大きな漁業です。我が波崎には、この遠洋かつおまぐろ漁船が2隻所属しており、この所属船の漁獲量は全国でも5本の指にはいるほどです。1航海はおよそ1ヶ月あまり、年8~10回程度しか日本の港に戻ってきません。



🐟 しらすうなぎ特別採捕

うなぎはマリアナ諸島沖、スルガ海山近深海で産卵孵化します。そしてレプトケファルス（柳状の幼生）が黒潮によって北上、晩秋から冬にかけて日本列島に流れ着きます。その後変態してしらすうなぎと言う稚魚になります。河川や、干潟などで何年か暮らし、生魚となった後、産卵のためまた川を下り、はるか南方を目差します。河川に流れ着き、遡上を始めたしらすうなぎを採る漁が“しらすうなぎ特別採捕”です。天然物のうなぎは全体の2%程度であり、市場に出回っているうなぎのほとんどはしらすうなぎ特別採捕によって採取された稚魚を人工的に養殖し、育てられたものです。

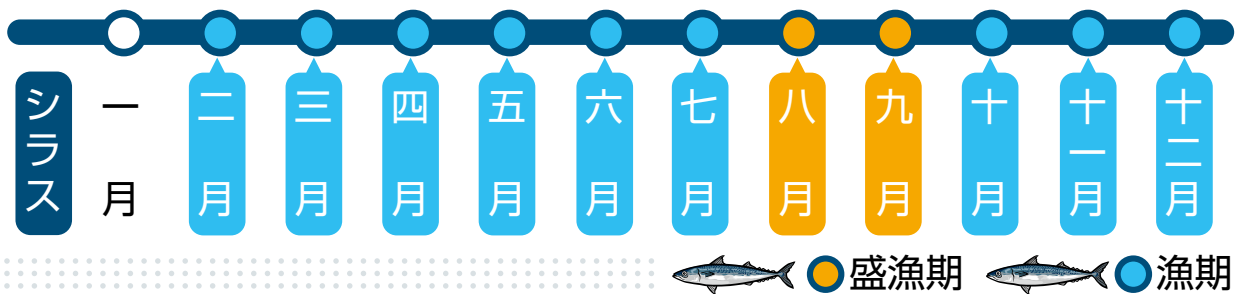
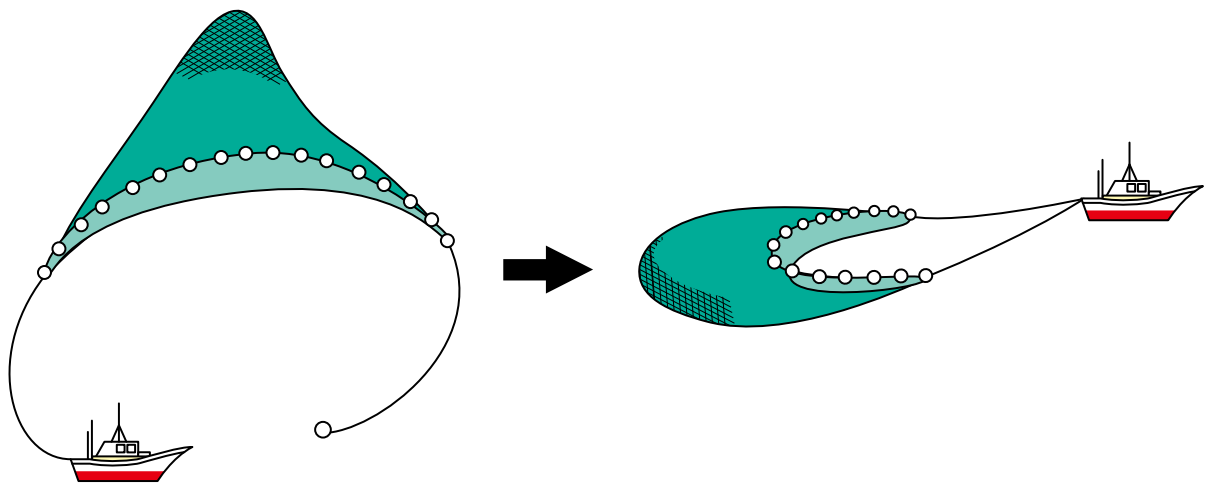


船びき網漁業

船びき網漁業はシラス、イカナゴ、オキアミなど多様な魚種を漁獲することで、海況、漁況変動などにも対応できることから5t未満船の基幹漁業です。

出漁と同時に魚探を作動させ、魚群を探索します。反応を識別したら、魚群を中心に置くように左舷から左端の曳網を投入し、全速で反時計廻りに円を描くような形で左荒手、左袖網、袋網、右袖網、右荒手、右曳網の順で投網します。左曳き網の先端の浮きまで駆け回って、曳網を取り込み、両曳網の端を船に固定し、

全力で両袖網間隔が萎むまで曳網する。袖網がそろったら、曳網をはずし、船尾の対のボールローラーで巻き上げます。胴尻近くになったらローラーからはずし、右舷側に据え付けてある小型のボールローラーに移し替えて胴尻を船上に取り込みます。取り込んだ胴尻を開放し、シラスをかごに入れて砕氷とともに攪拌し、急速冷却した後、砕氷を充分効かせてシラスカゴに移し、魚そうで保管します。



コラム 小型船と魚群探索機器の歴史

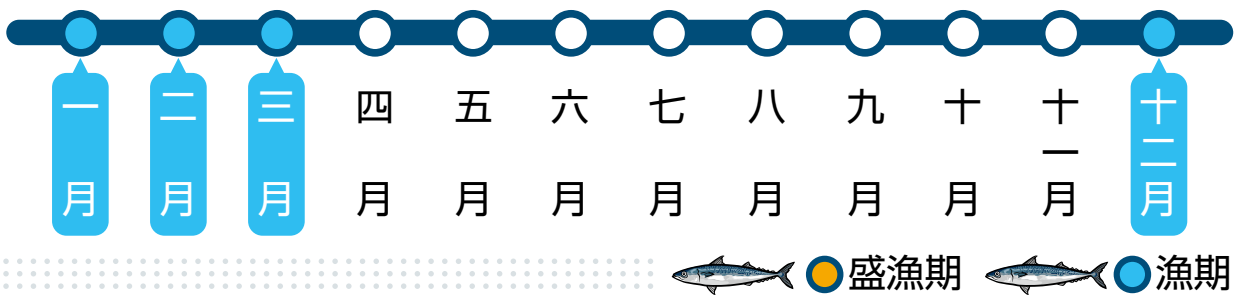
魚探は昭和35年頃から大型船で使われていた中古の50kcが導入されるようになり、昭和40年代になるとシラスが良く識別できる400kcが用いられるようになりました。その後、昭和50年代になると試験船「ときわ」で50kc、200kcを

併用してオキアミ調査を行ったところ、オキアミ、シラス、イカナゴの識別に効率的なことから、2周波魚探が普及していきました。ブラウン管、カラーブラウン管魚探と開発が進み、最近ではシラスモード付き魚探が普及しつつあります。

えび板びき網漁業

5t 未満船が主体とした漁業種類で、サルエビなどを主に漁獲します。操業は昼、夜ともに行われますが、夜曳きが一般的です。夕方 4 時頃出航し、朝方帰ってきます。漁場に着くとエンジンのクラッチを切って惰力だりよくで船を前進させ、船尾より胴尻どうじりから投入し、網ペンネットを入れたところで、一時固定し、船を 2/3 速で前進させて網成りをみます。網成りがよければ続いてドウマキ・スカシまでいれたところで

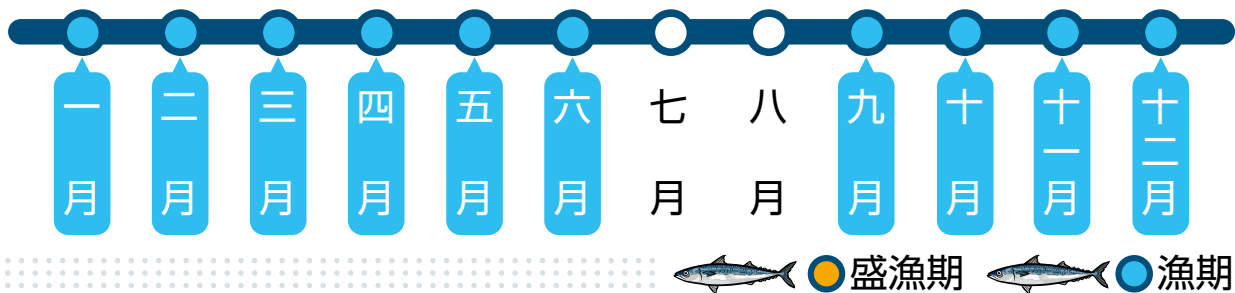
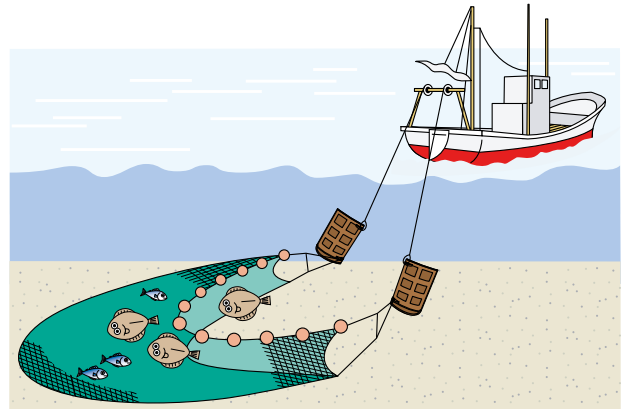
半速にし、開口板かいこうばん、曳網を投入、固定します。全速にして開口板の広がり具合を確認してから曳網をのばしていきます。揚網は曳網をキャプスタンにより手木まで巻き上げ、手木から胴網てぎまでを船尾のボールローラーで巻き上げます。



沖合底びき網漁業

15t 以上の漁船によって行われ、主に水深 50 ~ 1000m の海底を袋状の網でひき、底近くにいる魚を漁獲します。

ヒラメ、カレイ、アンコウ、ポタンエビ、シライトマキバイなどを主に漁獲します。操業は昼夜問わず行われます。1 航海は通常 1 泊 2 日、午前 2 ~ 4 時頃出港し、翌日の明け方、帰港します。開口板により網口を広げた網袋を船尾で曳く漁法はえび板びき網漁業の漁法と同様です。



🐟 貝けた網漁業

海底の砂泥さでいにいる2枚貝くしじょうを櫛状のツメを持つ「桁まが」と呼ばれる器具を曳ひくことにより砂泥ごと掘り起こし、うしろにつけた袋網てで砂を漉して貝のみを漁獲します。漁獲の対象となるのはハマグリ、ホッキガイです。ハマグリ、ホッキガイとも同様の漁法で、漁場に到着すると曳網の端せんびを船尾のピットせうびんに固定し

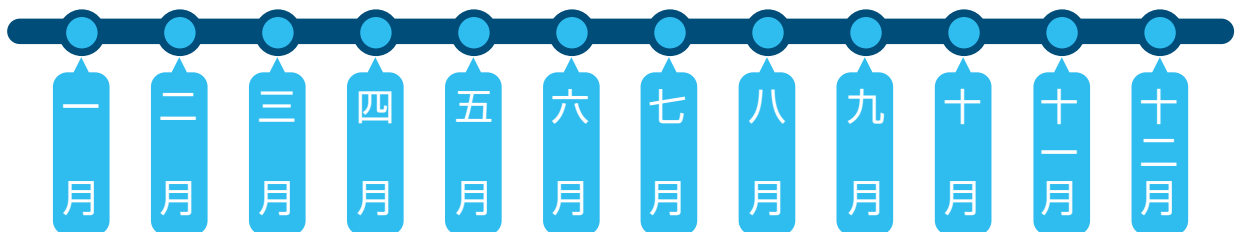
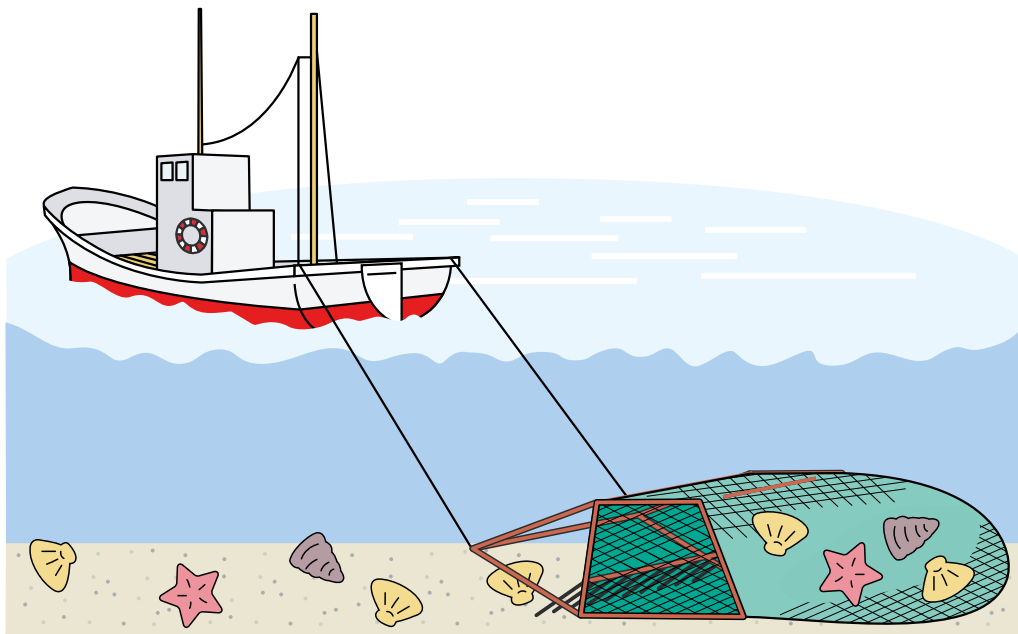
た状態で2丁の桁まがを船尾りゅうげんから両舷へ投入し、曳網をのばしたあと、海岸線に平行して曳ひいていきます。曳網速度は個人差があるようですが、1分間に1m程度のスピードと言われていています。速すぎると貝が割れたり、舌喰べろくいが多くなります。



【左】鹿島灘はまぐり 【右】輸入物はまぐり



砂を吐かせるため水槽に・・・



一月

二月

三月

四月

五月

六月

七月

八月

九月

十月

十一月

十二月



●盛漁期



●漁期

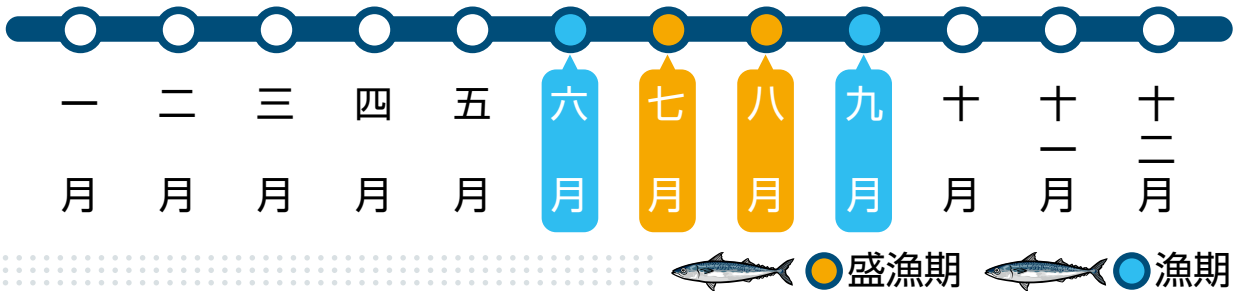
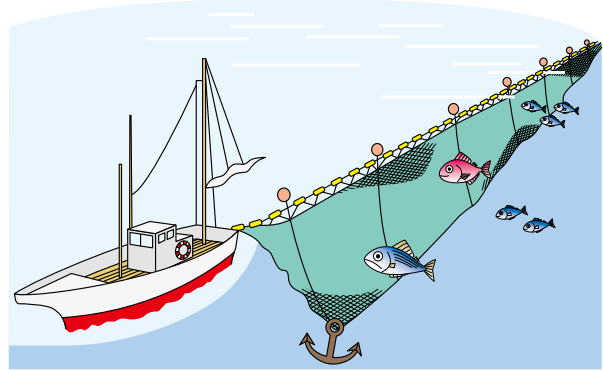
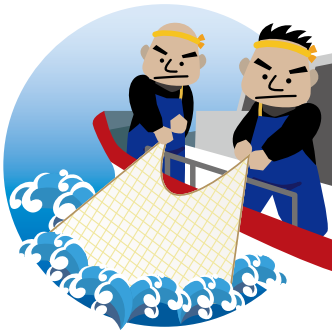
🐟 固定式さし網漁業

固定式さし網漁業は通称「建網」と呼ばれ、6月中旬～9月末日の期間に行われます。鹿島灘地区においては、第2種共同漁業権に基づく固定式さし網の漁場があり、漁期や操業規則等は漁業権を共有する漁協で組織する鹿島灘漁業権共有組合連合会の建網資源管理委員会で決められます。

漁網は100間切り6反を連結したものを10～15ホ

デ用います。漁具は沿岸線に沿って南北方向に設置していきます。漁場に着くと海底の様子を魚探で探り、潮流の状態をみきわめて漁具の投入位置と方向を決めます。

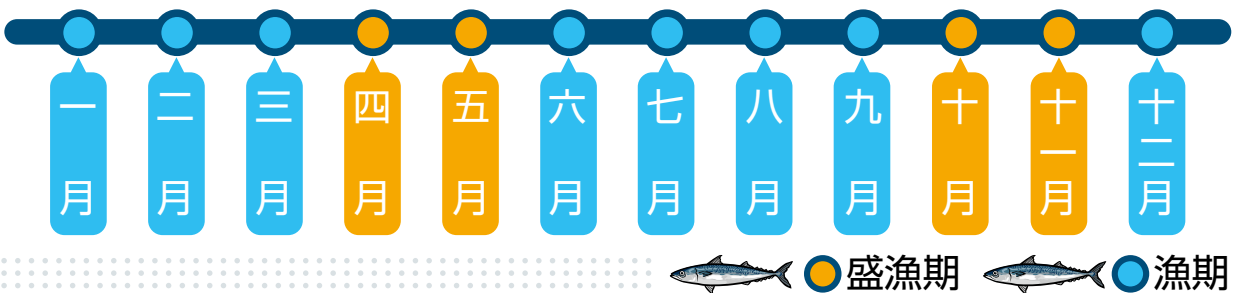
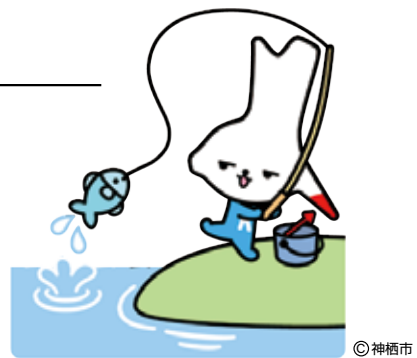
投網は夕方、揚網は翌朝行いますが、当地区では揚網時に投網も行います。



🐟 曳釣り漁業

曳釣りは、船尾から左右両舷から横に張り出した竿と船尾に垂直に立てた竿に疑似餌を取り付け、季節や対象魚種にあわせて水深を調整しながらひきまわして漁獲します。

主な対象魚種はカツオ(春と秋)、サワラ(冬～春)、メジ(秋～冬)、イナダ(秋)、ヒラメ(冬)などです。



とる漁業からつくり育てる漁業へ

海の水産資源を減らさないために、神栖市波崎の沿岸地域では、これまでハマグリ、ヒラメなどが放流されております。このように、現在は、神栖市波崎の沿岸地域でも、つくり育てる漁業が行われています。このように、卵から育てた稚魚を海に放流してからとる漁業を「栽培漁業」といいます。



はさきの海に放流されている水産種苗



ハマグリ

鹿島灘はまぐり(和名: チョウセンハマグリ)は、水深5~10mの砂地に生息しており、海水中の植物プランクトンを餌としています。稚貝の時期、貝殻に頂紋【ちょうもん】とよばれる2本線が見られるのが特徴です。天然の海では、ふ化から約3年で3cmになります。



ヒラメ

ふ化してから120日前後で大きさは100mm程度に育ち、放流されます。また、おおむね1年で300mm程度になり、とれるようになります。

『栽培漁業』と『養殖漁業』の違い

栽培漁業とは、卵から稚魚になるまでの一番弱い時期を人間の手で守り、その後、自然の海に稚魚を放流し、成長したものをとる漁業で、これには、海の中の魚の数を減らさないようにするなどの効果があります。養殖漁業は、一般的に、稚魚をイケスなどで飼育

し、食べられる大きさになったら出荷する漁業で、これには、とれる量がいつも一定ではない魚を、安定して食卓に届けることができるなどの効果があります。ちなみに、神栖市波崎では養殖漁業は行われていません。

栽培漁業の場合



養殖漁業の場合



※ = 人の手によるところ

🐟 漁業体験

漁師さんと一緒にいつも漁師さんが実際に使っている漁船を使って刺網漁・カゴ漁を行う体験です。前日に仕掛けておいた網やカゴを漁師さんと一緒に

引き上げていきます。魚が獲れているかどうか、ドキドキ緊張の瞬間です。普段では見ることが出来ない海上からの風景を眺めることができます。



このページをCOCOAR2で
SCANすると動画が再生します



波崎水産加工業協同組合

概要

神栖市内に住所、事業所を有する水産加工業者の協同組合です。組合員が協同して経済活動を行い、水産加工業の生産能率を上げ、組合員の経済的、社会的地位を高めることを目的として昭和24年8月に設立されました。

組合員が生産する水産加工品は主に波崎漁港、銚子漁港で水揚げされる「いわし」「さば」「さんま」を冷凍し、干物や缶詰などの水産食品の原材料として国内外に出荷しているほか、ようしやくぎょぎょう はえなわぎぎょぎょうじ 養殖漁業や延縄漁業用餌料としても利用されております。そのほか波崎を代表する加工品である「さくら干し」の製造、「しらす

干し」「煮干し」などの伝統的な水産加工品、海外の輸入魚を使った「干物」「すし種」「冷凍食品」など多種多様な水産加工品を生産しています。これら水産加工品の生産高は約13~15万トンで県内生産量のおよそ70%を占めております。

また、組合の事業としては一般的に水産業協同組合が行っている指導業務などのほかに、組合員の原料および製品等を保管するための施設として冷蔵庫を整備し、保管事業として組合経営の中核を担っています。さらには地元水場の促進と需給調整にも大きく貢献しております。

組合員数

正組合員 合計 **25**人

(平成31年3月末現在)

現在25事業所が組合に加入しております。その事業所に従事している労働者数はおよそ700人で、加工食品工場では女性が多く従事し、地域の基幹産業である水産加工業を支えています。また、外国からの技能実習生なども受け入れ、加工技術・文化等の国際交流もはかられております。



個人事業者

正組合員

5人

法人事業者

正組合員

20人

組合施設



冷蔵庫・管理事務所

冷蔵庫



全天候型プラットホーム(搬出入スペース)



冷蔵室内

建築概要


用地面積.....4,608.00㎡
 建築面積.....2,632.00㎡
 延面積.....2,742.50㎡
 構造・PC鉄筋コンクリート造り一部2階建

設備概要

冷蔵温度.....-35℃
 冷蔵能力.....公称 4,095トン

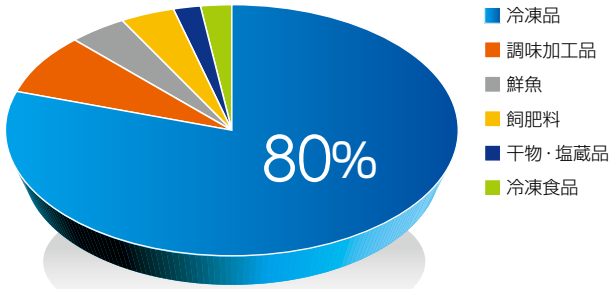


平成30年水産加工品生産高

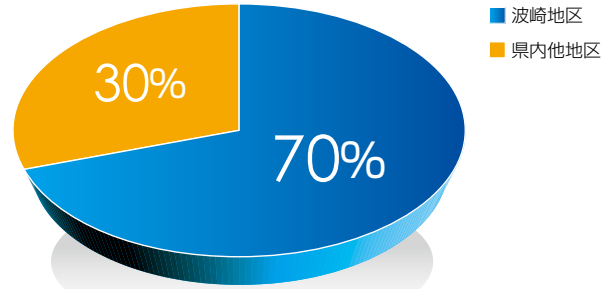
区 分	数 量	備 考	
鮮 魚	いわし類	2,000トン	豊洲の他、全国卸売市場、スーパー等に出荷 
	さば類	900トン	
	その他	520トン	
冷 凍 品	いわし類	52,000トン	内、約25,000トンが海外輸出 その他干物等の加工原料、 養殖魚飼料に利用 
	さば類	60,000トン	
	その他	3,000トン	
干物・塩蔵品	干 物	760トン	さば、ほっけ、さんま他 
	煮干し・しらす干し	250トン	
冷 凍 食 品	煮魚・焼き魚	300トン	味噌煮、生姜煮、塩焼等 
	切り身・開き	1,200トン	
	す し 種	360トン	
調味加工食品	みりんぼし・さくらぼし	1,150トン	いわし、さば、さんま他 
	缶詰製品	8,300トン	
	たこ製品	2,650トン	
	その他	90トン	
飼 肥 料	魚粉・残渣	5,500トン	家畜、養殖飼料
合 計	138,980トン		

生産品比率

波崎地区生産品割合



茨城県水産加工品生産高



干物加工品生産工程

原料魚を製造ラインへ送り、開き三枚卸などスピーディーに処理されます。



機械処理で取れなかった内臓等を手作業で取除き、きれいに整形します。

塩漬けされた魚の余分な水分を取除き、網に並べ乾燥機にかけられます。





乾燥後ベルトフリーザーにより30分～1時間で急速冷凍されます。



冷凍された製品を金属探知機にかけ異物が混入していないか厳しく検査します。



検査後の製品を規格ごとに包装箱詰めして出荷されます。

冷凍品生産工程



漁港から直接トラックで工場に搬入されます。





工場内の選別機によりサイズ別に自動選別されます



自動選別された魚はさらに人の目と手によってチェックされ箱詰めされます



箱詰後-35℃の冷凍庫で10～12時間で急速冷凍されます



養殖漁業用冷凍餌料(製品)



冷凍品パレット荷姿(左)袋入(中)木箱入(右)カートン入



コラム 《主な水産加工品》



鮮魚



加工用冷凍サバ



養殖漁業用冷凍餌料



さくらぼし



さんまみりん



しらす干し



缶詰



各種干物



さんまレモンじめ



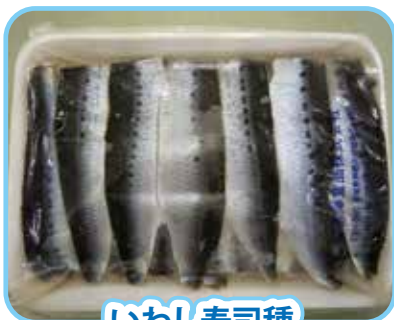
骨取フレンチ干物



いわし煮魚



いわしピーマンぼーる



いわし寿司種



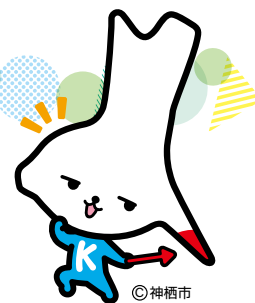
蒸したこ



煮魚・混ぜご飯の素

コラム 《沖合底びき網漁業で獲れる魚》

沖合底びき網漁業は様々な種類の魚を漁獲します。
沖合底びき網漁業が漁獲する魚のほんの一例を紹介します。



©神栖市



アンコウ



ガンゾウヒラメ



ヤナギムシガレイ



ポタンエビ



キチジ



シライトマキバイ



ヤリイカ



サメガレイ



ミズダコ

イワシ、サバは良質なたんぱく質の供給源！栄養上重要な栄養素が豊富です。小さなお子さんにも食べやすいメニューもご用意しました。美味しいおさかなをより美味しく。栄養たっぷりの魚介類、家族みんなでいっぱい食べましょう！



サバの味噌煮 材料(4人分)

- さば1匹(700g) ● ごぼう100g ● 青ネギ2本 ● しょうが(皮付きのまません切り)10g
- 赤みそ100g【水カップ2、砂糖大さじ2、酒カップ2/3】 ● サラダ油 ● 砂糖 ● 酒



作り方(レシピ)

1. さばは三枚におろして腹骨をすき、肩身を二つに切り皮に切り目を入れます。
2. ごぼうは皮をこそげて約6cm長さの割り箸くらいに切り、水にさらします。青ネギは約4cm長さに切り水にさらします。青ネギは約4cm長さに切り、サラダ油をぬって網で焼きます。
3. 鍋に【 】内の材料とごぼうを入れて一煮立ちさせ、さばの身を下にして並べ、しょうがをちらし落し蓋をして中火で5～6分間煮ます。赤みそをとき入れて火を弱め、煮汁をかけながら12～13分間煮、青ネギを添えて盛ります。



サバの酢豚風 材料(1皿分)

- サバ1尾 ● しょうゆ ● 大さじ1杯 ● ショウガ10g ● 片栗粉 ● 大さじ3杯 ● 油 ● 大さじ1杯 ● トマト1個(150g) ● 玉ねぎ1個(200g) ● キュウリ2本(160g) ● パイン(缶)4枚 ● 油大さじ2杯 ● 甘酢(ケチャップ大さじ4杯、しょうゆ大さじ1杯、酢大さじ4杯、砂糖大さじ3杯、パイン汁1/2カップ、水1/2カップ、片栗粉大さじ1/2杯)

準備&作り方

1. サバは三枚におろし、更に血あいの部分を切り落として小骨をのぞき、そぎ切りにして、しょうゆとしょうが汁をかけて30分位おいてから、片栗粉をまぶしつけ、油で少しこげ目がつく位に、焼いておきます。(カリッと焼くこと)
2. トマト、玉ねぎ、キュウリ、パインはあら切りしておきます。
3. 鍋に油を入れ、玉ねぎ、キュウリ、トマトの順にいため、水を入れて煮立ってきたら甘酢の材料を加え、サバとパインを入れて、水どき片栗粉で濃度をつけ素早く仕上げます。



イワシ団子の寄せ鍋 材料(4人分)

- イワシ6匹 ● イワシ6匹 ● ねぎ(みじん切り)大さじ2 ● しょうが汁小さじ2 ● 木綿豆腐1丁 ● 生しいたけ8枚 ● 春菊1わ ● にんじん1本 ● ねぎ2本 ● 昆布だし約8カップ ● 薬味(大根・人参)適宜 ● 片栗粉 ● 酒 ● 塩 ● しょうゆ 各適宜【だし カップ1ポン酢 大さじ2、しょうゆ 大さじ2】



作り方(レシピ)

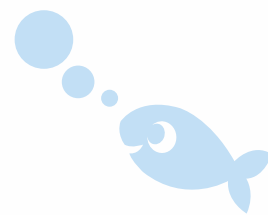
1. イワシは頭、尾、ワタ、中骨を除き、細かく刻んですり鉢ですり、ねぎ・しょうが汁・酒大さじ1塩少々、片栗粉大さじ2を混ぜ、一口大にまとめて熱湯でゆでます。
2. 豆腐はやっこに切ります。生しいたけは軸を切り落とします。
3. 春菊は太い茎を除きます。にんじんは5mm厚さの輪切りにし、花形に切ってゆでます。落し蓋をして中火で5～6分間煮ます。赤みそをとき入れて火を弱め、煮汁をかけながら12～13分間煮、青ネギを添えて盛ります。
4. なべに昆布だし、酒大さじ2、塩小さじ1、しょうゆ大さじ1を入れて煮立て、1と2を入れてしばらく煮、3も入れて煮ます。
- 5.【 】内の材料を混ぜてつけ汁をつくり、薬味の大根と人参はすりおろし、4に添えます。







hasaki
fishing industry



このパンフレットに関するお問い合わせ先

神栖市波崎漁業後継者育成対策協議会

〒314-0407 神栖市波崎新港9番地 はさき漁業協同組合内

TEL.0479-44-1122 FAX.0479-44-3020